

インターンシップ

山口県立山口農業高等学校 環境科学科・参加生徒22名

井本 大地・山口建設㈱

1日目は、プリント学習や工場見学をしました。印象に残ったのは試験室の見学です。試験室でコンクリートの小さな柱（テストピース）を圧縮するのを見ました。小さな柱でも20t以上耐えられることに驚きました。

2日目の午前は、産業廃棄物中間処理場で水準測量とトランシットの据え付け、午後からは、山口アスコンで道路の舗装工事の見学をしました。舗装するときの道路の厚さは通るものによって変えていることや道路に雨水がたまる場所はとも広く感じました。午後は、初めてトータルステーションの据え付けと角度・距離の測定をしました。緊張して作業に時間がかかりすぎたのもっと頑張らな、と思いました。



ルステーションの据え付け方法を教えてもらいました。

2日目の午前中は、担当の方が携わられたダムや佐波川の橋などの見学に行きました。見学した構造物は、規模がとも大きくて驚きで声も出ませんでした。

3日目は天端用の丁張板を作り、午後は水が漏れないようにするために水路と水路の間を埋めるコンクリート打設を行っていたところを見学しました。型枠をはずしたときにコンクリートに空気が入ったりしていると、きれいなにならないと教わりました。

最終日の午前中は、現場の交通整理をされているガードマンの仕事について学びました。午後、本社で安全に関する話を聞き、色々な作業の見学で学んだことは、土木工事では一番大切な作業をしている方の安全だということでした。

この4日間で学校生活ではできないことをたくさん経験させてもらいました。教えてもらったことや学んだことをこれから生かしていきたいです。

矢次 純也・㈱宗像建設

初日はレベル測量を行い、その後、橋の耐震構造について、水平力分担構造や落橋防止構造などのことを学びました。

2日目は、実際に橋の上の測量を行い、器高式によって橋の高さを調べました。橋の測量は普通の測量よりも何倍も難しかったです。

3日目は、旧消防学校跡地で器高式の測量をしました。分かった



を作っているような技術者を目指して、これからも頑張っていきたいと思っています。

長谷川 泰知・井森工業㈱

現場実習でたくさん学ばせてもらいましたが、その中でも3つのが特に印象に残っています。

1つめは「土木は何のためにあるのか」です。土木の仕事は、単純に道路や橋、トンネルを作ることだけだと思っていました。しかし、国道改良工事の設計図や現地を見て分かったことがあります。道路や橋を作ることによって、その道を通る人や貨物がより安全に、短時間に移動することができ、コストを低くできるということです。日本の技術が進歩し続けているのは、土木の道路改良や基礎工事の貢献も大きいのだと改めて思いました。

2つめは「総合建設業と専門工事業者の枠組み」についてです。これまでは依頼を受けた会社が1社で工事に入り、構造物を作ると思っていました。しかし実際は総合建設業者が依頼を受けて、構造物に合った各専門工事業者と契約し、多くの会社によって1つの構造物ができていました。事業者が得意分野を活かし、短い工事期間で正確な事業がなされています。複数の事業者が合同で作業を行うためには、与えられた仕事をできるだけなく、コミュニケーションを取りながらチームワーク良く仕事を進める必要があることに気づきました。

3つめは「現場での安全管理」です。現場でのヘルメットやマスクの着用はもちろん、危険が少しでもあるところにはコーンを置いたり、ダンプロトラックが通る導線には誘導員の方が配置されていたりと二重にも三重にも安全への配慮がされています。さらに少しでも危険な状況があると作業を

ことは、今までよりも工夫しないとできないという事でした。

4日目は旧消防学校跡地へ行き、トータルステーションを使い基準点を測量しました。観測結果の良否、気圧・気温の補正、データの保存が観測と同時に実施できることなどがトータルステーションの最大の長所だと分かりました。学校で学んでいないことを教えていただいたりして有意義な時間でした。

三原 奈未・㈱森野組

今回のインターンシップでは、実際の現場でレベルやセオドライトを使って測量したり、工事の様子を見学させてもらいました。

測量は普段学校で使っている器械と少し違うものだったり、測り方も違っていたので、教えてもらいながら測量しました。据え付けの時も時間がかかってしまったので、基本はしっかりと出来る様にしておきたいです。

現場を見ていて特に印象に残ったのが、仲間とのコミュニケーションの大切さです。担当の方のお話にもありましたが、現場で作業する際は安全第一で作業しなければならぬため、常に仲間同士で声を掛け合いながら一つ一つの作業を行っておられました。また、コミュニケーションをとること現場は明るい雰囲気になっていました。

土木工事は人が生活する上で必要となるものを作り、人の生活を守っていきます。私も将来人の役に立つ仕事に就くため、日々の実習などで知識を得たいと思います。



藤本 実結・西山建設㈱

私は今回、西山建設で3日間インターンシップをさせてもらいました。パソコンを使って作業することが主で、1日目は授業でもやった表計算、2日目は「積算」という工

事費用の見積もりを出す作業をしました。3日目には電子入札と内訳書の作成の仕方などを教えてもらいましたが、様々な項目があり、金額の計算も多かったのも大変でした。私が特に楽しかったのは、2日目現場で行った測量でした。すごい器械を使った測量や、レベルを使った測量を行いました。授業で習ったことが少しでも生かされたので良かったです。

今回のインターンシップは、職場の皆さんにとっても親切にしてもらい、良い経験になりました。自分が卒業して就職することになったら、西山建設のような会社に入りたいなと思いました。この3日間で学んだことを、授業や将来にも生かせるように頑張りたいと思います。

西山 唯希・日栄興業㈱

1日目は、道路の舗装工事を見学させてもらいました。日常でもよく見かける工事ですが、全体の流れをきちんと見ることで大変勉強になりました。特にバックホーの運転のテクニックがある場所でも、電柱などがある場所でも砂を隙間無く埋めておられました。

2日目は水道管の接続工事を見学させてもらいました。水道管などの工事は掘ったその日に埋めないといけないので、時間との勝負だと聞いてい



ましたが、作業は予定よりも早くスムーズに終わりました。それは現場の全員が次に何をすべきか分かっている、一人ひとりが率先して動いているからではないかなと思います。

3日目は様々な現場を見学させてもらい、測量もやらせてもらいました。この3日間、現場を見学させてもらい、たくさん学ばせてもらいました。

山口県立田布施農工高等学校
環境土木科・参加生徒14名



現場実習では、主に土質について教えてもらいました。最初にCBR試験について説明を受けて実験をしました。さらに手順を確認し、翌日に向けて締め固め試験と含水比試験の準備を行いました。その後、土の粒度試験を行い、土の粒径による性質の違いやその名称、その他の土質に関する室内試験の内容やその利用法についてなど詳しく教えてもらいました。土は土木工事の基礎を築くものなので、慎重で正確な調査をもとに工事が進められていることがよく分かりました。

2日目は前日に準備した飽和状態の土を取り出して吸水膨張試験を行い、CBR試験のすべてが完了しました。路床を調べるためにこんなにも皆さんの実験が必要なのに驚きました。その後は土の状態をより詳しく調べるために、含水比試験と密度試験を行い、結果を整理しました。最後に各試験の確認テストをしてもらい、自分の理解度も再確認することができました。

社会に出たらあまり勉強することはないと思っています。しかし今回、社会に出てからも多くを学ばなければいけないことが分かり、学んで、理解して、実施することの大切さと面白さを感じることができました。将来人のために安全な道路や建造物

全員が止めて安全確認をするなど、その厳重な管理に驚きました。

2日間で、土木についての茫洋としたイメージがしっかりと形になった気がします。学んだことを、今後の学校生活や就職活動に活かしていきたいと思っています。

片山 葉月・洋林建設㈱

1日目は午前中に現場見学、午後は測量をさせてもらいました。見学した現場は国道18号別府地区改良工事、歩行道路拡張のために山側を掘削する準備をしていました。驚いたのは工事概要が記載してある看板の周りに、車や人が接触しても大丈夫なようにスポンジがついていたことです。現場では安全に配慮がされており、地域の人に迷惑をかけないように心がけて作業されていることを初めて知りました。午後からは杭打ち君という測量機を用いて測量をしました。初めて使う器械で、最初は少し戸惑いました。スマホと連動した光波測量で追尾式だったため、1人で短時間に測量できました。現場での黒板の書き方も教えてもらい、とても充実した初日となりました。

2日目は安全に関するDVDを見て、現場でルールを守るの大切さを学びました。その後、丁張の計算方法やオートCADの使い方を教えてもらいました。難しかったのですが集中してやっているとあっという間に時間が経ってしまいました。実習だけでなく、仕事のやりがいや楽しさも伺いすることができ、将来土木の仕事に就いて社会貢献できるような工事に携わりたい、と強く思うようになりました。今後その目標に向けて、しっかりと頑張っていきたいと考えています。



平成28年インターンシップ実施企業42社 (参加生徒数 71名)

2月17日～19日

- 岩国工業高等学校 都市工学科
- 八木興業㈱
- 長畑建設工業㈱
- 安本建設㈱
- 大島組
- 勝井建設㈱
- ㈱ガンスン
- ㈱太昭組
- 日栄興業㈱
- ㈱藤川興業所
- ㈱ミヤベ
- ㈱村元興業
- ㈱村中工務店
- 西山建設㈱
- ㈱重政組
- ㈱エムエスシー
- ㈱坂本建設コンサルタント
- ㈱錦測量事務所

8月23日～26日

- 山口農業高等学校 環境科学科
- 石山建設㈱
- 山口建設㈱
- ㈱技工団
- シマダ㈱
- ㈱宗像建設
- 防長建設工業㈱
- 山陽建設工業㈱
- 明和技術コンサルタント㈱
- ㈱アサヒコンサル
- ㈱リクテコンサルタント
- ㈱山口建設コンサルタント
- ㈱三建調査設計

10月27日～28日

- 田布施農工高等学校 環境土木科
- 井森工業㈱
- ㈱大池組
- 時盛建設㈱
- ㈱川畑建設
- ㈱中山組
- ㈱高須組
- 洋林建設㈱
- 共同産業㈱
- ユタカ工業㈱
- 街泉土木コンサルタント
- ㈱ソイル・ブレイン
- ㈱異設計コンサルタント